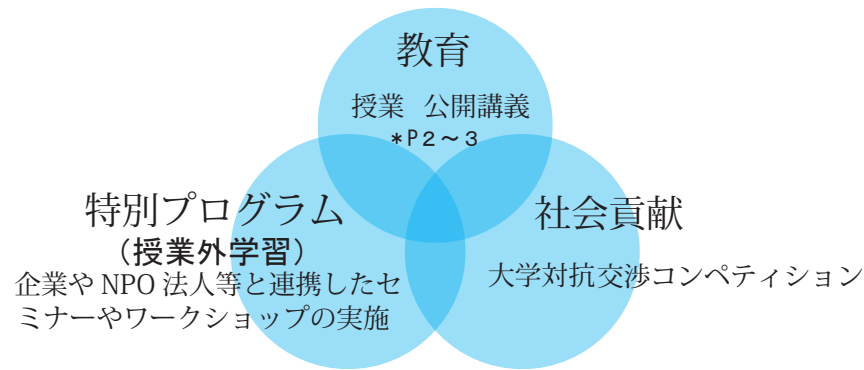


# グローバルリーダーシップ・プログラム

## 【プログラム構成 (詳細は2, 3ページ参照)】



## 【運営体制】

- グローバルリーダーシップディレクターズボード
- アドバイザー  
名誉アドバイザー  
西川善文 株式会社三井住友銀行名誉顧問 (前日本郵政代表取締役社長)  
鷲田清一 元大阪大学総長
- GLP 運営委員会 (学生主体)
- ROSTER (講師陣)
- 大阪大学リーダーシップ教育研究会
- パートナー  
株式会社パナソニックグループ、住友化学株式会社、住友林業株式会社、  
NPO 法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション
- アソシエート  
三井住友海上火災保険株式会社、三井住友信託銀行株式会社  
株式会社アルセッド建築研究所

### 【授業外での学習の場】

**大学対抗交渉コンペティション (INC)**  
INC は日本の大学で世界に通用する交渉者を養成することを目標としています。

**NPO 法人グローバルリーダーシップアソシエーション (GLEA)**  
GLEA は、公共のためにリーダーシップを発揮できる強い倫理観を持った人材を養成することを目標とします。

詳しい情報は、<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/> でご覧いただけます。

## 【設立趣旨】

大阪大学グローバルリーダーシップ・プログラム (GLP) は、**学生に主体的な学びの機会と場を提供する**ために、篤志家による寄付により 2007 年 4 月に設立されました。

## 【教育目標】

リーダーシップは首相や社長などの地位から生じるものではありません。リーダーシップの基本は、市民一人一人が**責任を持って社会的問題を解決しようとする行動**にあります。GLP は、**国境を越えた公共的課題を解決するために社会を変革するリーダーシップを備えた人材を育成**します。

## 【GLPの4原則】

### 本物から学ぶ

企業経営、政治・行政や国際社会で優れたリーダーシップを実践してきた方々を講師に迎えます。

### 対話で変わる

対話を通じて反省と気づきを繰り返し、倫理と教養に裏付けられたリーダーシップの基礎を作ります。

### アートで感じる

音楽や演劇、文化と融合した新しい教育方法によって、鋭敏な感覚、即興力と人の心を動かす力を養います。

### やってみる

志のある人々と学生が協働して授業を創ることでリーダーシップを学びます。

授業は、大阪大学の学生なら誰でも受講または聴講することができます。社会人や他大学の学生も、科目等履修生制度が利用できます。

### 連絡先

大阪大学大学院国際公共政策研究科 (GLP 事務局 / 交渉教育支援センター)  
〒560 - 0043 豊中市待兼山 1 - 31 直通：06 - 6850 - 5629  
(E-mail) [glp@osipp.osaka-u.ac.jp](mailto:glp@osipp.osaka-u.ac.jp)  
(URL)<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/>

# 【大阪大学グローバルリーダーシップ・プログラムの模様】

## 経営者と語るリーダーシップ

### Learning Leadership from Business Leaders

企業のトップをゲストに招き、未曾有の経済危機の中でも相互依存を強めるアジアの中で、グローバルな事業戦略、社会責任(CSR)、そしていかにリーダーシップを果たしていくかを学生と対話します。

2018年度 国際公共政策学科 3年

経営者の方々と相手にやり取りしながら授業を一緒に作り上げるという作業はこの授業以外では経験することのないもので、まさにアクティブラーニングを文字通り落とし込んだ授業だったと感じた。学生のうちにこのような経験ができるこの授業は将来的にもとても有意義なものであった。

## 実践グローバル・リーダーシップ

### Practicing Global Leadership

グローバルな社会に生きる私達が、どのようにしたらグローバルに通用するリーダーシップを会得できるかを五感を通じて明らかにしましょう。

2018年度 保健学科看護学専攻 1年

今年の実践GLの参加者は非常に積極的であり、また頼りがいのある人ばかりで、自分が授業運営や何かの係に当たっている時も安心感があった。授業に参加していると、周りに鼓舞されて自分の意識も高まり、こういう仲間の存在のありがたみを感じた。ただ、もっと活発な議論を行いたいと思う時もあった。今回できた繋がりをこれからも保っていけたらと思う。

## リーダーシップを考える

### Taking Leadership Seriously

少人数のセミナー形式で学生と教員が連携企業と協働し、授業や公開講座を企画し運営する活動の中で、責任あるリーダーシップの在り方を具体的に学びます。

2018年度 法学部法学科 3年

「リーダーシップを考える」の授業を通じて、知識・実践・能力の定義や関係性を意識できるようになりました。今後も、目標に向かう際に活用できると思います。知識をえて、実践を重ね、能力の幅や質を高めていきたいです。

## リーダーシップデザイン

### Leadership Design

リーダーシップを身につけることは、多様な経験による自己鍛錬の航海のようなものです。国際舞台での実務経験のある教員によるワークショップ型授業のメリットは、多様な視点を持つ学友たちとの対話を通じて、「自分らしさ」のある独自のリーダーシップ能力に気づくことです。「デザイン思考」によって、今までとは違う自分を発見し、自分自身に驚嘆してみてください。ポナペティ!

2017年度 法学部 国際公共政策学科 4年

LeadershipをDesignすることとは、未来思考で、自分の軌跡をたどる旅のようでした。思考することで、自己と他者の関わりを意識させられ、話すことで、その関わりを強化し、拡大させる。より広く物事を観察すること、より深く分析すること、より良く伝えることの大切さを学びました。

## ネゴシエーション

### Negotiation

交渉やディベートの練習を繰り返すことによって、ビジネスマナー、チームワーク、マネジメントおよびリーダーシップを失敗や失意も経験しつつ、具体的に習得します。

この授業を通して得られたものは非常に多い。それは交渉術の基礎やファシリテーターの方法や相手への伝え方等のことから、実践的な交渉や仲裁まで挙げれば非常に多くある。これらのことをすべて頭で理解するのではなく、そのうえで自分の普段の行動の細部にまでその恩恵を届けられるように何度も何度も実践して、確実に自分のものとしてできるように今後も精進していきたい。

## 国際問題

### International Affairs

担当教員の外交に関する実践的な知識と豊富な実務経験を踏まえ、日本外交の歴史の理解と現下の外交トピックを研究します。